

大気圧プラズマによる植物生育中における殺菌システムの開発

大気圧プラズマは近年医療，農業分野への応用のため広く研究されている。農業分野においては，プラズマの殺菌作用を利用して，化学農薬に依存せず，残留性や健康，環境への影響が少ない効率的な病原体殺菌方法が求められている。プラズマ照射による殺菌効果については多くの先行研究があるが，支配的な活性種の特定や菌特性を考慮した照射法の確立などに関しては未解明な部分が多い。本研究では，原料ガスとして空気を用いた大気圧プラズマ噴霧装置（図1）を作製し，個々の病原体の菌特性を考慮した最適のプラズマ照射条件を明らかにすると共に，イチゴ苗育成中の殺菌システムの開発を目指している。典型的な殺菌例を図2に示す。

